課金管理システム
取　扱　説　明　書

Hotel Version

2011年05月09日　3．1．1版

株式会社テクノワープ

まえがき 3

1. システム構成 4

1-1 動作環境 4
1-2 接続方式 4
1-3 接続形式 5

2. 基本処理の流れ 6

3 アプリケーションの実行 7

3-1 「課金管理システム」の選択 7
3-2 スタート 7
3-3 「内線表示」 8
3-4「通話明細表示」 9
3-5「領収書印刷」 10
3-6「支払い済み」 10
3-7「請求集計」 11
3-8「請求表示」 12
3-9「閉じる」 12

4 設定 13

5 注意事項・その他 15

5-1 データのバックアップ 15
5-2 PC 初期設定について 15
5-3 USB 接続時の交換機接続通信ポート設定について 17

6 問合せ先 18

まえがき

本取扱説明書は「課金管理システム」の操作、機能について記述します。
「課金管理システム」は岩崎通信機株式会社製デジタル交換機に接続し、内線からの発信電話料金を受信し、パソコン画面上に表示、印刷するプログラムです。
本取扱説明書ではプログラムのインストール方法については説明しておりません。

1．システム構成

1-1　動作環境

「課金管理システム」はパソコン上で動作するソフトウエアです。

本体	Pentium4 プロセッサ 2.8GHz 以上
対応 OS	WindowsXP/Vista/7
メモリ	512MB 以上 (WindowsVista/7 の場合は 1GB 以上)
ハードディスク容量	10GB 以上
CD-ROM ドライブ	1 基
ディスプレイ解像度	1024x768 以上
バックアップメディア	USB メモリ等必要に応じてご用意下さい。
通信用ポート	RS232C ポート 1 ポート(シリアル接続の場合) LAN ポート 100BASE-TX 1 ポート(LAN 接続の場合)

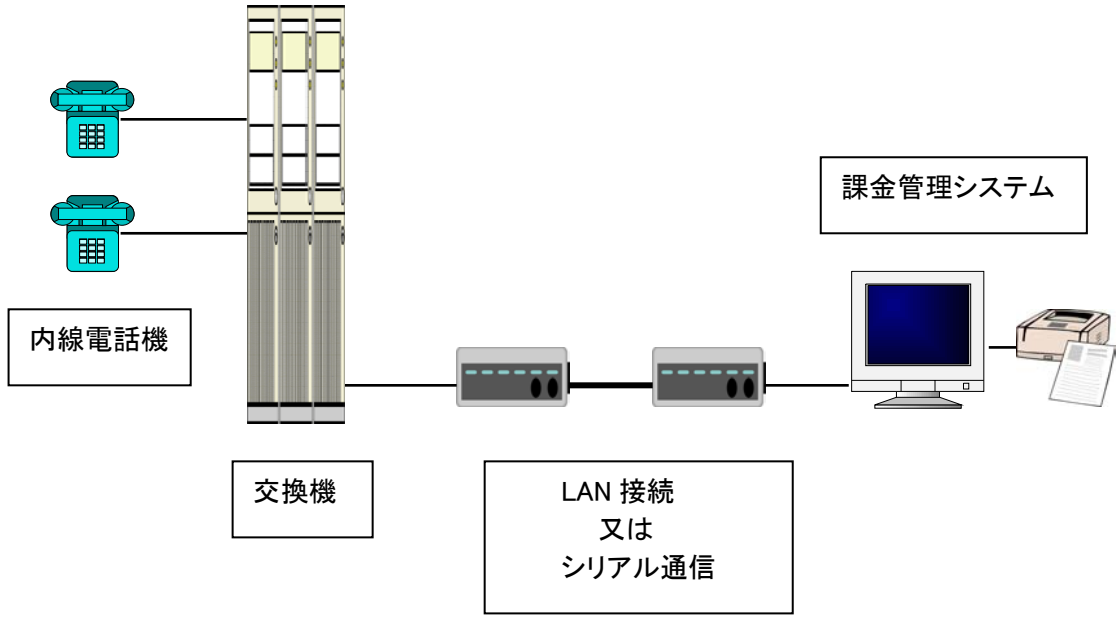
1-2　接続方式

「課金管理システム」は岩崎通信機株式会社製デジタル交換機と接続し、交換機から送信される課金データを常時受信し、パソコン上で表示、印刷を行うことができます。
交換機～パソコン間の通信は、RS232C ケーブルを使用するシリアル通信と、LAN ケーブルを使用する LAN 接続を選択することができます。

シリアル通信の場合、複数のパソコンで同じ課金データを受信することは可能ですが、
LAN 接続の場合、1 台のパソコンでのみ課金データを受信することができます。

※LAN 接続は、TELMAGE Ver3.10 以降の岩崎通信機株式会社製デジタル交換機の場合のみ選択可能です。

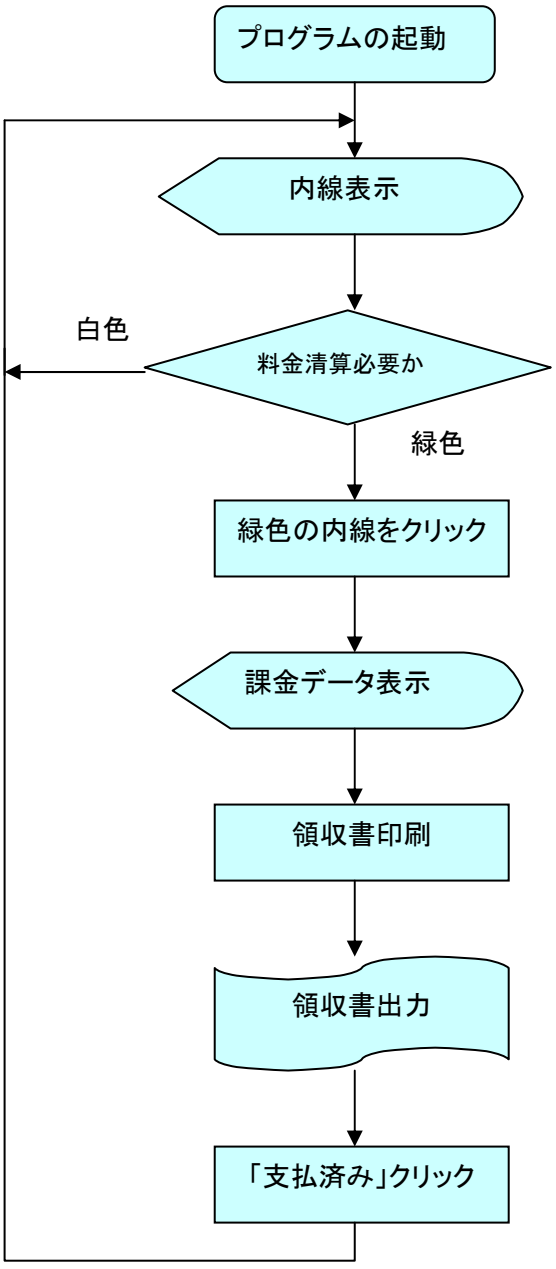
1-3　接続形式



※交換機～パソコン間を LAN 接続する場合は、交換機と課金管理システムのみでネットワークを形成する形式を推奨しています。
運用上、他のネットワーク(社内ネットワークなど)と隔離することが可能であれば、交換機と課金管理システムのみのネットワークで運用して下さい。
交換機へパソコンを直接つなぐ場合は、クロスケーブルを使用して下さい。

２．基本処理の流れ

課金管理システムの基本処理の流れは次のようになります。



課金管理システムは常時起動しておきます。

内線一覧を表示します。

清算時に内線ボタンが緑色になっているか確認

領収書が必要なら「領収書印刷」をクッリク

領収書印刷後課金データをクリアします。緑色が白色に変わります。

注意

内線からの電話料金は通話終了後、交換機から「課金管理システム」に送信されます。このときパソコンの電源が切れている場合や、「課金管理システム」のプログラムが停止されている場合、データの受信ができませんのでご注意願います。

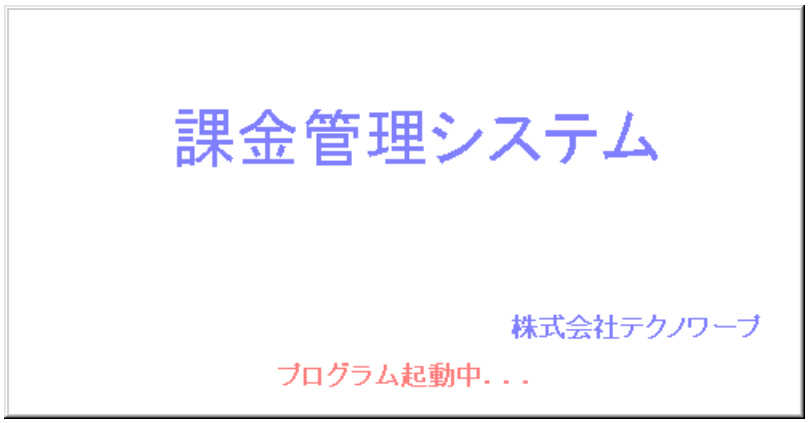
３　アプリケーションの実行

3-1　「課金管理システム」の選択

Windows 画面左下の**「スタート」**—>**「プログラム」**—>**「課金管理システム」**ー>**「課金管理システム」**の順にクリックします。又は、デスクトップ上の課金管理システムアイコンをクリックします。

3-2　スタート

起動メニューが表示され、データの読み取りが開始された後、内線状態をを表示します。



3-3　「内線表示」

プログラムが起動すると内線状態画面に切り替ります。

① プログラム起動中は常時この画面が表示されます。

② 白色の内線は電話が未使用の内線です。

③ 緑色の内線は電話を使用した内線です。

3-4「通話明細表示」

緑色の内線ボタンをクリックすると通話明細表示画面に切り替ります。

① チェックインから現在までの電話使用状況が表示されます。

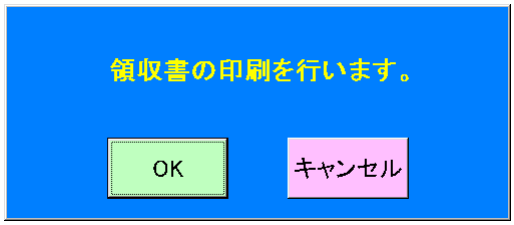
日付　　:電話利用日
ダイヤル　:発信先の相手番号（電話番号の下2桁は設定によりマスクすることができます）
通話開始　:通話開始時刻
通話時間　:通話時間（時:分:秒）
通話料金　:通話料金。電話料金の後の＊印は消費税対象外の電話料金です。

② 電話料金の合計表示をします。

課税対象合計　　:課税対象料金の合計
消費税　　:課税対象料金の消費税
非課税対象合計　:非課税対象料金の合計
調整　　:合計料金の端数を調整した場合の金額

3-5「領収書印刷」

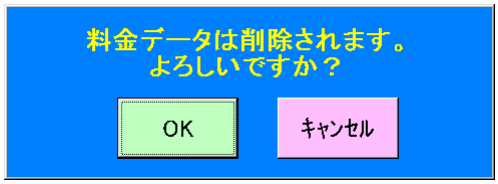
「領収書印刷」ボタンをクリックすると印刷内容の問い合わせ画面が表示されます。
通話明細データは領収書印刷を行なっても消えません。
通話明細データを削除するには、次の「支払い済み」で行ないます。
請求表示画面の宛名に入力した内容を自動的に領収書の宛名に挿入します。
（全角24文字まで入力可能です。宛名を入力しない場合、領収書の宛名を無記名で印刷します。）



「OK」　：通話明細入りで印刷します
「キャンセル」　：処理を中止します。

3-6「支払い済み」

「支払い済み」ボタンをクリックすると料金データの削除問合せ画面が表示されます。



「ＯＫ」　：表示中の内線電話機の料金データを削除します。
但し、**「ＯＫ」**ボタンをクリックしただけでは現在の表示画面は変わりません。この操作を行なうと内線表示画面の緑色が白色に変わります。
「キャンセル」　：処理を中止します。内線表示画面は緑色のままです。

3-7「請求集計」

「内線表示」の「請求集計」ボタンをクリックすると集計年月を入力画面が表示されます。

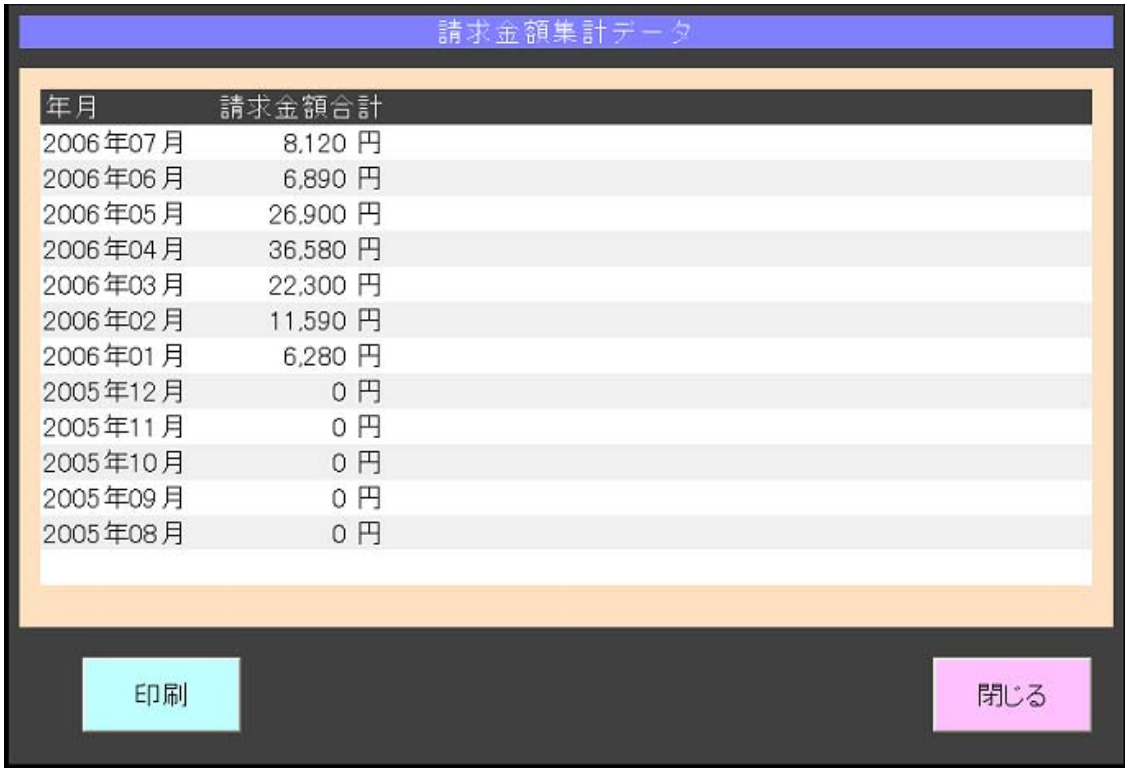
検索月を指定し、「実行」ボタンをクリックすると指定月から過去１年分の請求金額の合計を月単位で表示します。

今月　　：　「今月ボタン」をクリックすると今月の日付が年月の欄に表示されます。
　　西暦年（４桁）、月（２桁）
先月　　：　「先月ボタン」をクリックすると先月の日付が年月の欄に表示されます。
　　西暦年（４桁）、月（２桁）
先々月　：　「先々月ボタン」をクリックすると今月の日付が年月の欄に表示されます。
　　西暦年（４桁）、月（２桁）
実行　　：　指定された条件で過去１年分の請求課金合計を表示します。

任意指定　：　月日欄に直接入力することもできます。
　　空欄の月日欄をクリックすると数字入力画面が表示されますので任意の数字を入力できます。

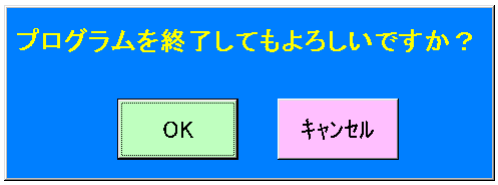
3-8「請求表示」

「実行」ボタンをクッリクすると検索条件に基づき請求データが表示されます。
表示される請求金額合計は「支払済み」の操作を行った各月毎の集計です。



3-9「閉じる」

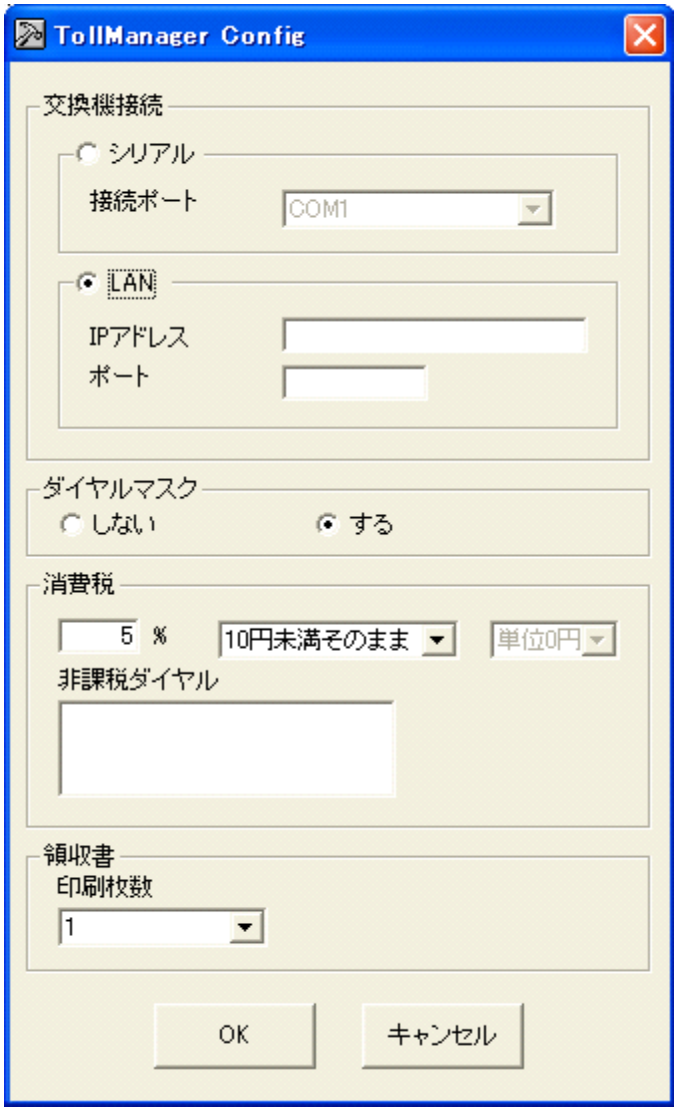
内線表示画面の「閉じる」ボタンをタッチするとプログラムの終了確認メッセージが表示されます。「OK」をクリックするとプログラムが終了します。



4　設定

Windows 画面左下の**「スタート」**—>**「プログラム」**—>**「課金管理システム」**—>**「システム設定」**の順にクリックします。
します。

「課金管理システム」の動作条件を設定する画面が表示されます。



交換機接続・・・交換機～パソコン間の接続方法を設定します。
RS232C ケーブルでシリアル通信を行う場合は、「シリアル」をチェックし、使用する COM ポートを設定します。
LAN ケーブルで接続する場合は、交換機の IP アドレスとポート番号を設定します。

※1　接続方法を LAN へ設定した場合、交換機・パソコンへ設定するネットワークアドレスは同一のネットワークアドレスを設定して下さい。

※2　交換機～パソコン間を直接 LAN ケーブルで接続する場合は、クロスケーブルを使用して下さい。

ダイヤルマスク　：発信先の相手番号の下2桁を「＊」印にするか、しないか。
交換機側にダイヤルマスクの設定がされている場合は無効です。
消費税　：課税対象通話料金に対する消費税率
合計料金を求める際、10円未満の金額の処理方法が選択できます。
10円未満そのまま
10円未満切捨て　5円単位で設定可能
10円未満切上げ　5円単位で設定可能
10円未満四捨五入
非課税ダイヤル　：国際通話のような非課税ダイヤルとなる番号を設定します。
領収書　：領収書の印刷枚数を設定します。

５　注意事項・その他

5-1 データのバックアップ

通話明細データは支払済みの操作後は削除され参照することはできません。
データとして保存されているのは月毎に集計された金額のみとなります。
月毎の請求集計のデータは下記のフォルダに保存されていますので必要に応じて別媒体等に保存してください。

請求集計データのフォルダ

C:¥Program Files￥TollManager￥chg￥Ayyyymm．csv
yyyy：年　mm：月

5-2 PC 初期設定について

本運用の前に、以下の手順でパソコンの初期設定を確認して下さい。

Windows XP

①デスクトップ上で右クリック→プロパティ→スクリーンセーバー→電源→電源設定

「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」、「システム スタンバイ」、「システム休止状態」が「なし」に設定されているか。

②デスクトップ上で右クリック→プロパティ→スクリーンセーバー

スクリーンセーバーの設定が「なし」に設定されているか。

③コントロールパネル→自動更新

「自動更新を無効にする」がチェックされているか。

Windows Vista/7

①デスクトップ上で右クリック→個人設定→スクリーンセーバー→電源設定の変更→ディスプレイの電源を切る時間の指定

「ディスプレイの電源を切る」、「コンピュータをスリープ状態にする」が「なし」に設定されているか。

②デスクトップ上で右クリック→個人設定→スクリーンセーバー→電源設定の変更→ディスプレイの電源を切る時間の指定→詳細な電源設定の変更

「ハードディスク→次の時間が経過後、ハードディスクの電源を切る」が「0」に設定されているか。

③デスクトップ上で右クリック→個人設定→スクリーンセーバー

スクリーンセーバーの設定が「なし」に設定されているか。

④コントロールパネル→セキュリティ→WindowsUpdate→詳細オプションの表示

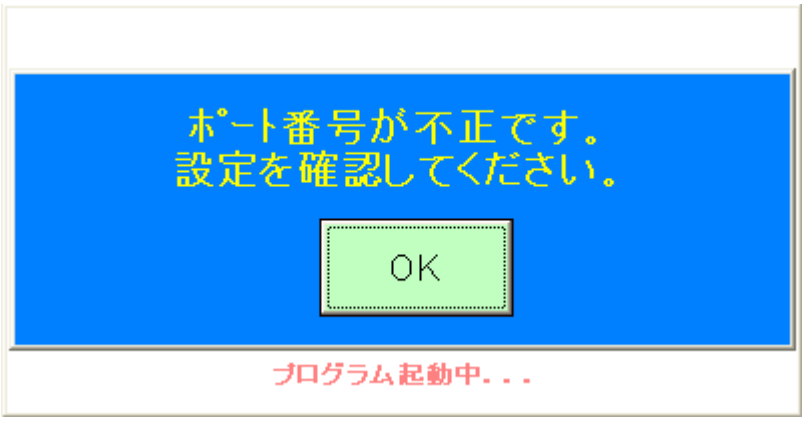
「更新プログラムを確認しない」がチェックされているか。

※上記の設定がない場合、データの受信が正常に行なわれない可能性がありますので、本運営の前に必ず確認してください。

5-3 USB 接続時の交換機接続通信ポート設定について

1. USB 変換アダプタを使用し交換機からの通話データを受信している場合、PC の起動・再起動時に COM ポートが認識されない場合があります。認識されない場合は、変換アダプタの抜き差しを認識されるまで行ってください。

2. 「課金管理システム」起動時に下記メッセージが表示された場合は交換機接続の「通信ポート」の設定に誤りがあります。
以下の手順で未使用の COM ポートをチェックし、「通信ポート」へ設定してください。



① 「マイコンピュータ」を右クリックし、「管理」をクリック。

② 「デバイスマネージャ」をクリックし、「ポート(COM と LPT)」をクリック。

③ 「通信ポート」を右クリックし、「プロパティ」をクリック。

④ 「ポートの設定」をクリックし、詳細設定をクリック。

⑤ 画面左下の「COM ポート番号」のドロップダウンリストで「(使用中)」と表示されていない COM ポートの番号をチェックします。

⑥ 「⑤」でチェックした未使用の COM ポート番号を、「通信ポート」へ設定します。

⑦ 「課金管理システム」を停止し、再度起動した際にメッセージが表示されないことを確認し、通話データが受信されているか確認してください。

6　問合せ先

株式会社テクノワープ
東京都八王子市明神町２－１２－１７
清水ビル１階
TEL：042-643－7077
FAX：042-643－7078